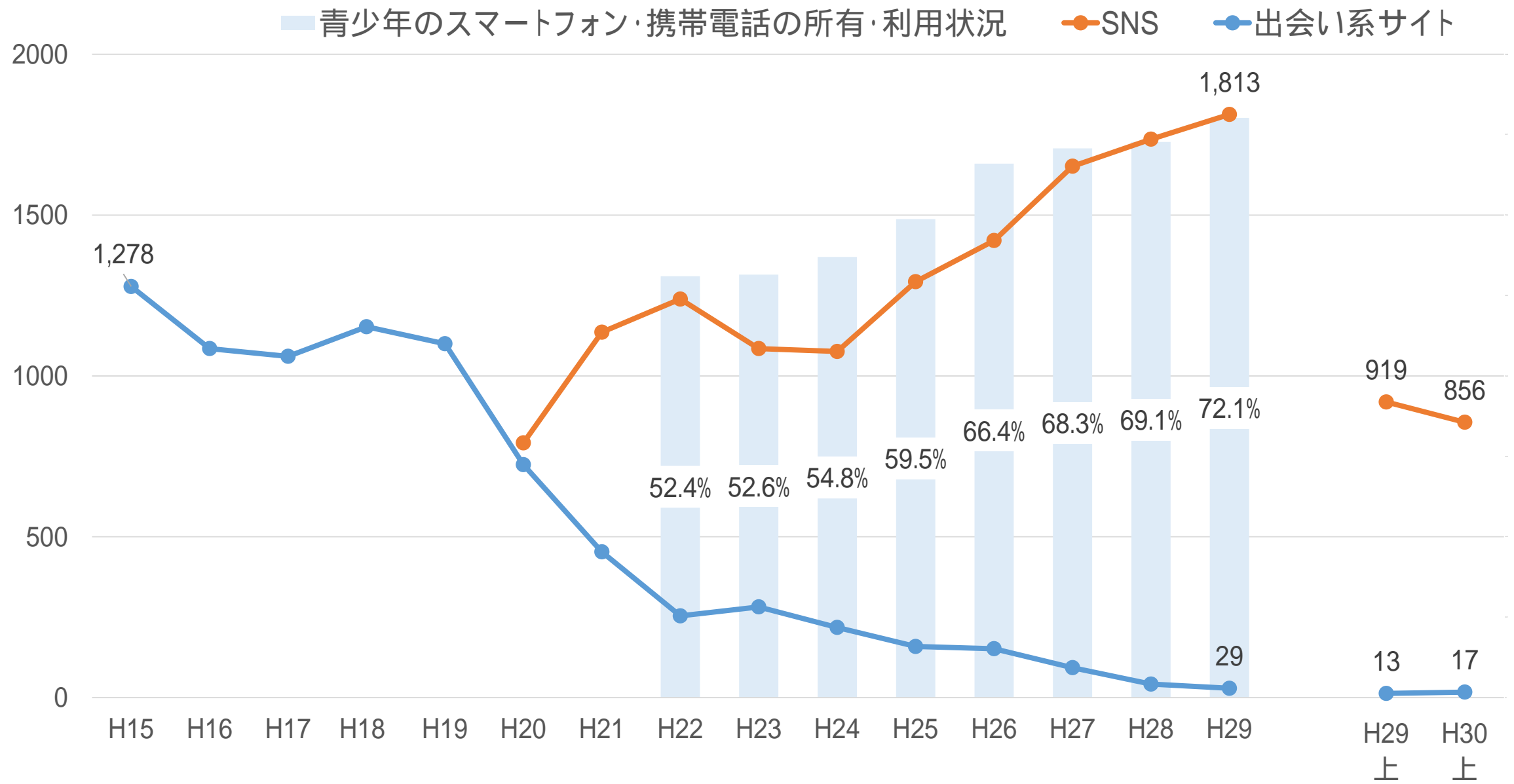


# SNS等に起因する被害児童の現状と対策

警察庁生活安全局少年課

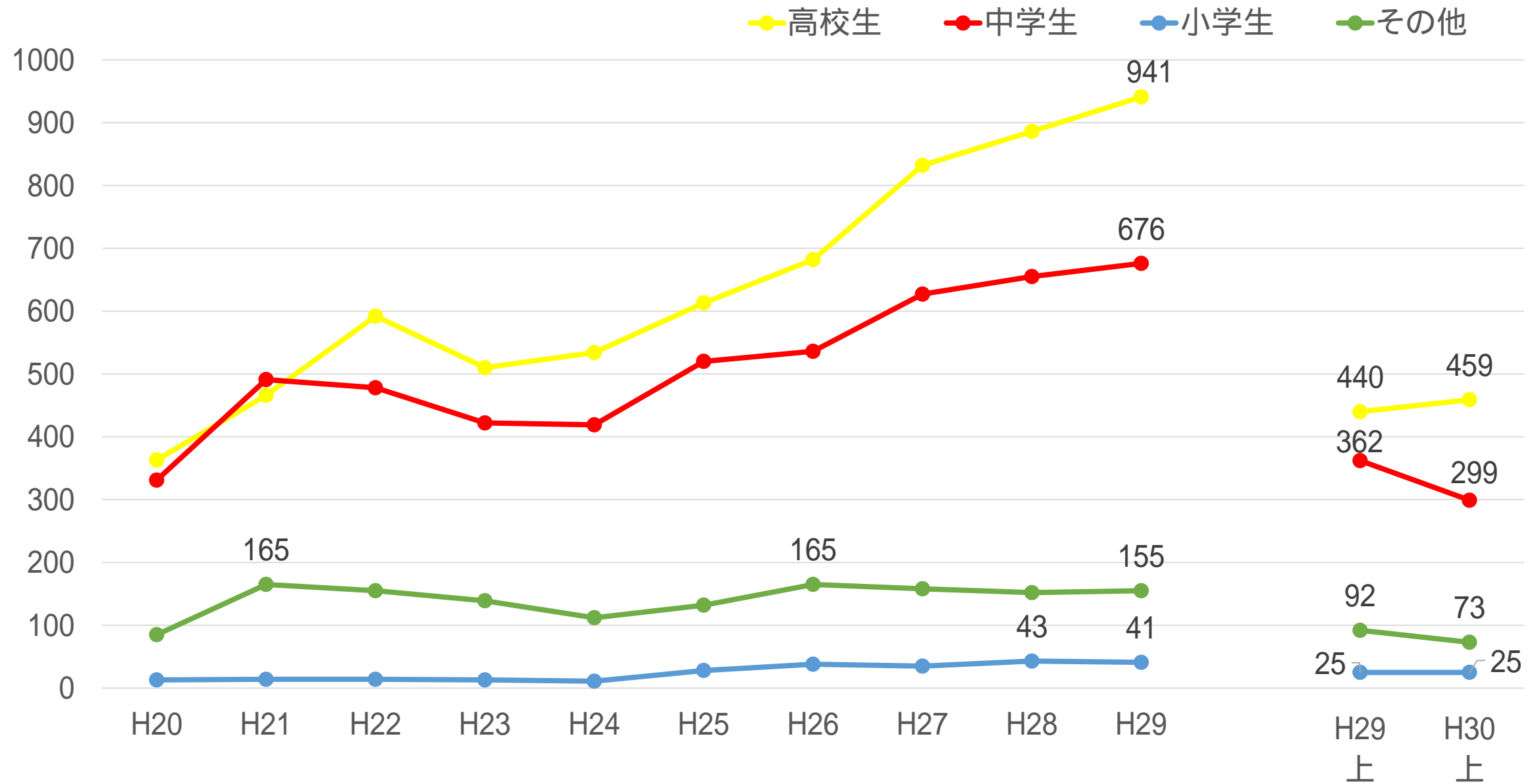
# SNS等に起因する被害児童数の推移



青少年のスマートフォン・携帯電話の所有・利用状況(統計数値)については、内閣府ホームページから引用

SNSに起因する被害児童数は近年増加傾向にあるが、平成30年上半期は前年同期比で減少した。

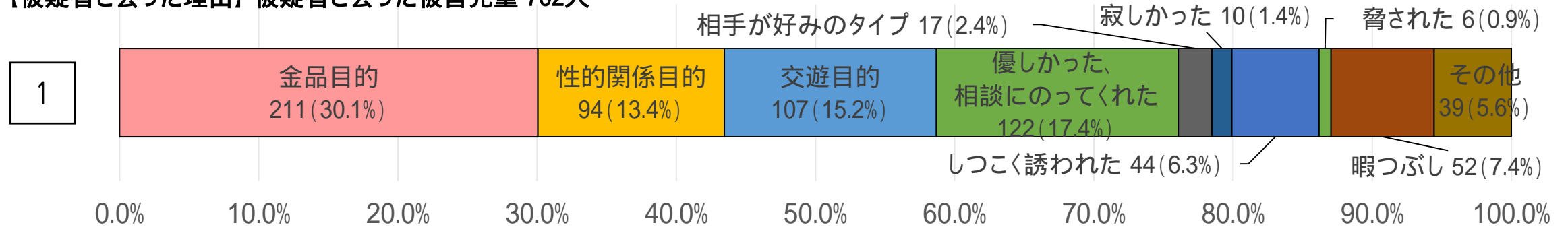
## 【SNS】学職別の被害児童数の推移



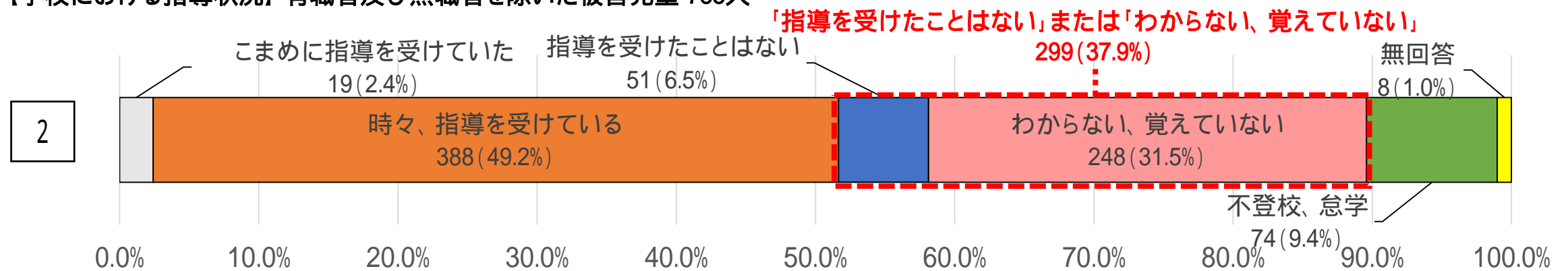
SNSに起因する被害児童数の学職別は、高校生・中学生共に近年増加傾向にあり、平成30年上半期も両者で約9割を占めた。平成30年上半期を見ると、中学生は前年同期比で減少した。

## 【SNS】被害児童の状況

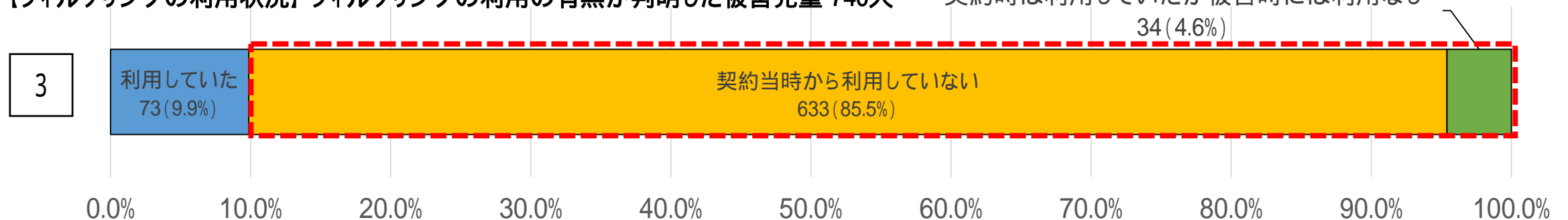
【被疑者と会った理由】被疑者と会った被害児童 702人



【学校における指導状況】有職者及び無職者を除いた被害児童 788人

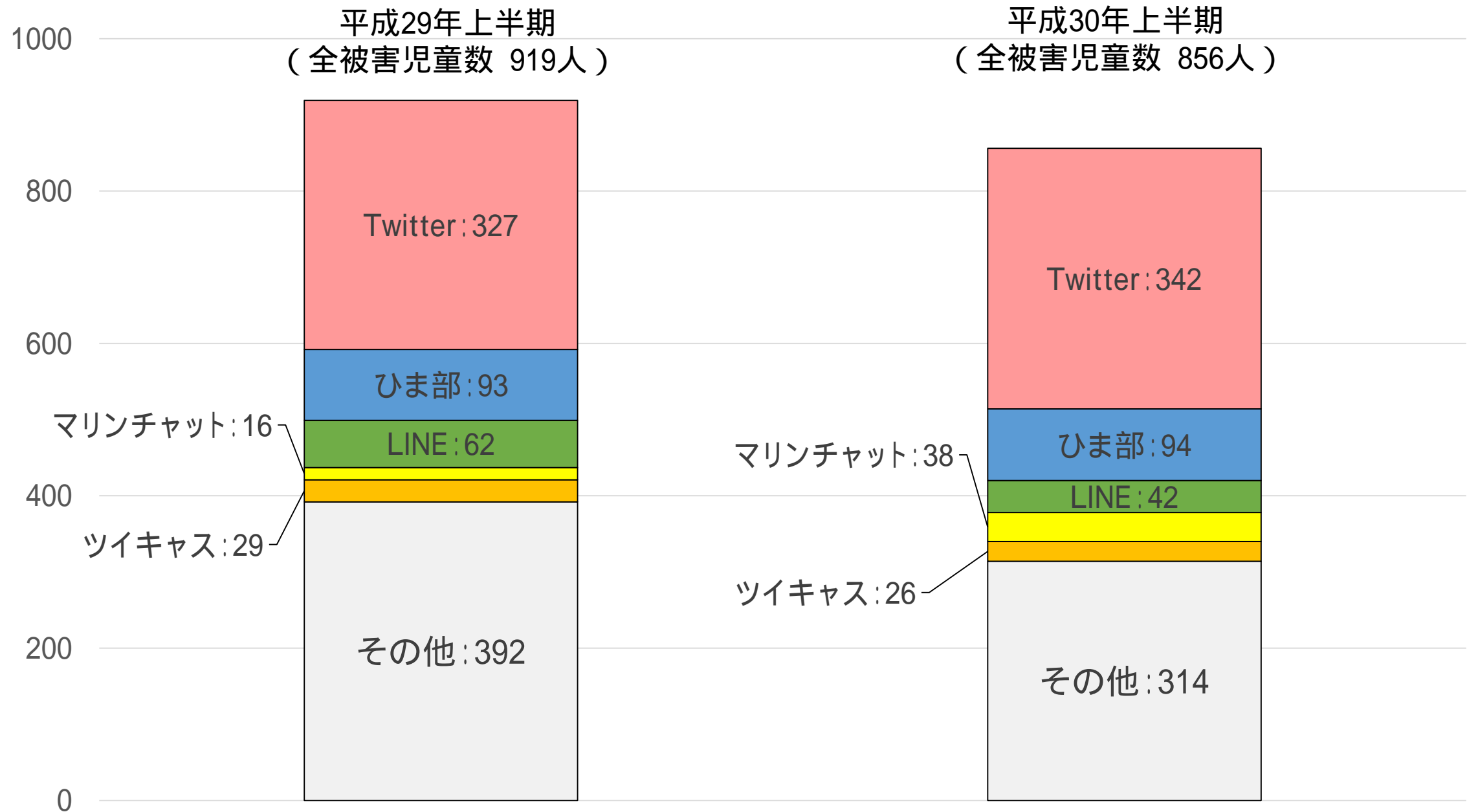


【フィルタリングの利用状況】フィルタリングの利用の有無が判明した被害児童 740人



- ・ 被疑者と会った理由では、「金品目的」及び「性的関係目的」に関連する理由が4割強を占める。
- ・ 学校における指導状況では、「指導を受けたことはない」、「わからない、覚えていない」と回答した児童が約4割を占める。
- ・ フィルタリング利用の有無が判明した被害児童のうち、約9割が被害時にフィルタリングを利用していない。

## 【SNS】被害児童数が多いサイト



「Twitter」に起因する被害児童数が約4割。